

教頭に就任して

飯岡 幸雄



今年度より教頭に就任した飯岡です。私が直接教えたことのある卒業生からは、「うそっ！」「信じられない！」「オーマイゴッド！」などという声が聞こえてきそうですが、教頭就任の話があったときには私も同じような気持ちでした。時のいたずらでしょうか。聖光学院に就職して三十数年の歳月が流れましたが、教鞭を取り始めた頃はまだまだ自分のことで精一杯で教員として一生過ごすのかどうかも分からず、その頃の生徒にはかなり迷惑をかけたのではないかと思います。その後、担任、学年主任、入試委員、進路指導など様々な職務に就き、いろ

いろな経験をさせてもらうことよって教員の仕事のおもしろさを知り、充実した日々を送ることができました。ここまで何とかやってこられたのも周りの人々、特に生徒(卒業生)の皆さんのおかげだと深く感謝しております。最近の聖光学院の評判のよさを見ると、教頭という重責が自分に務まるのかどうか不安もありますが、これからは「聖光学院に入学してよかった」、「もし自分が男の子の親になったらぜひ聖光学院に入学させたい」と思える生徒を一人でも多く育てられるように努力していく所存であり、何卒よろしくお願ひします。

退任の先生

越野 治
(こしの・おさむ)



昭和19年4月7日生
昭和42年4月1日〜平成20年3月31日(技術科教諭)

草薙 治雄
(くさなぎ・はるお)



昭和19年10月24日生
平成17年4月1日〜平成23年3月31日(保健体育科非常勤講師)

部活動紹介

(全国大会出場 一 囲碁・陸上・少林寺拳法)

部名	部員数		最近の主な実績または活動内容
	中学	高校	
[運動部]			
バレーボール	22	13	中学：市大会出場 高校：春高予選県ベスト32
バスケットボール	50	27	中学：横浜市大会ベスト16、中区大会優勝 高校：横浜南地区優勝、県大会ベスト8
バドミントン	37	18	中学：横浜市大会出場、神奈川県私立中大会3位
卓球	36	29	中学：個人戦ベスト16 2名
野球	58	69	中学：中区秋季大会優勝 高校：県大会出場
サッカー	63	40	中学：中体連各大会出場、高円宮杯出場 高校：高体連各大会出場、冬季横浜地区大会ブロック優勝(2009年)
硬式テニス	91	75	中学：神奈川県私立中学校大会優勝(ダブルス)(2009年) 高校：横浜市リーグ戦3部、県新人戦(団体)32位
ソフトテニス	25	30	中学：市ブロック大会、県私立中大会出場 高校：全国大会神奈川予選、県新人大会、県私学大会出場
陸上	40	31	中学：県選抜陸上大会400m 2位(全国大会出場)私立中学校大会1年100m 1位 高校：高体連新人大会出場
剣道	17	11	中学：中区西区大会個人戦 3位
柔道	7	15	中学：横浜市大会個人戦優勝、日神杯1年の部優勝(2009年) 高校：南区大会一般無段の部優勝(2009年)
空手道	0	10	中学：春期横浜市民大会個人組手ベスト8 高校：県大会新人戦ベスト8、和道流全国大会優勝
少林寺拳法	41	20	中学：全国大会に進出 高校：全国大会に進出
水泳	28	34	中学：県大会3年連続進出(2010年)
[文化部]			
美術	3	15	美術班と書道班で活動。各種展覧会に出品。書の甲子園、高校生大作展入選
吹奏楽	37	40	入学式・卒業式での演奏。チャリティーコンサート開催。聖光音楽祭・地域の音楽祭(馬車道まつり・クイーンズスクエア吹奏楽演奏会など)に参加
弦楽オーケストラ	17	16	定期演奏会。聖光音楽祭。聖光祭・入学祝福ミサ・学校説明会などで演奏。青少年オーケストラ・フェスタに参加。老人ホーム・教会での演奏
グリークラブ	3	9	アカペラコーラス、男子校では全国唯一のハンドベル。教会・聖光祭でコンサート。日本賛美歌学会大会で演奏。聖光音楽祭。
ギター	1	9	ギターでの演奏活動。聖光祭での発表等
生物	4	11	聖光祭での研究発表、夏合宿(昆虫採集、自然散策)
物理科学	20	20	物理実験(電子工作など)、化学実験。
地学	12	17	夏合宿(化石・鉱物採集)。冬は天体観測。国際地学オリンピック日本代表(2009-2010)
囲碁・将棋	32	28	囲碁：第八回文部科学大臣杯小中学校囲碁団体戦神奈川県予選第3位(全国大会進出) 将棋：文部科学大臣杯小中学校将棋団体戦参加。全国高等学校将棋選手権大会神奈川県予選参加。C級で1, 2, 3位に入賞。
交通研究	24	16	巨大鉄道模型レイアウト製作。年三回の視察旅行(巡検)。研究活動。
コンピューター	23	11	Java, JavaScript, C++などによるプログラミング。CGの作成。ロボットの制御。
歴史	2	3	展覧会や博物館見学、視察旅行、聖光祭での発表等

その他学校公認の生徒団体
・ボールぽこぼこ：ジャグリング・グループ。聖光祭や学校説明会などで発表
・数学研究会：ゼミ形式での数学関係の文献購読を中心に、問題製作および数学オリンピック対策を行う(2010年国際数学オリンピック日本代表としてカザフスタン大会に出場)

今年の大学入試結果より

教務部 進路指導担当 花家 徹(13期)

前年度の47期生の大学受験結果は、それまでの聖光学院の大学入試に関するレコードを、ほとんどすべて塗り替えるものでした。その後ろを追いかける48期は常に47期と比較され、なかなか縮まらない差を意識し続ける状況にありました。48期は行事では遺憾なく力を発揮したりするものの、高2のスタート時点では英数などの学習の遅れが心配されています。それが、聖光祭・体育祭と主要行事が一段落し、部活からも第一線を退くようになった2学期の中盤くらいから、劇

的ともいえるほど学習への意識変化がみられるようになり、もともと授業への姿勢はよかつた学年ですが、より意欲的な取り組みがみられるようになり、その結果は模試にも表れるようになり、47期の華々しい受験結果をみて、次は自分たちもという気持ちに強くなりました。48期の受験結果は表にみるように、昨年度の結果を上回ることはなかなか難しかったものの、例年と比べ好結果とみてよい数字であり、高2の前半までの状

況を考えれば、ずいぶん善戦したといえます。しかし一方で、涙をのんだ受験生もいます。受験生たちの報告を聞くと、ボーダー前後のわずかな得点差で命運が分かれていきます。また、今年3月11日の東日本大震災の影響で後期試験を実施せずセンター試験だけの得点で合否を決める大学が続出し、最後の追い込みで挽回をねらっていた受験生には酷な措置でした。

今年の現役進学率は71%と、例年並みの数値ですが、私立大に合格していてもあえて浪人を選択するという生徒が増えています。また、一人あたりの受験大学数も減少傾向にあります。自分にとつて納得のいく進路だけを選択しようとする傾向が強まっているようです。

その背景には、過去の先輩たちの好結果を、プレッシャーではなくむしろ励みとする中で、それが強気の進路選択につながっていると考えられます。6年間の学院生活で、学習面はもちろん、部活動や生徒会活動などにも思う存分打ち込んできたバイタリティー溢れる先輩たちが、受験期においても存分にその力を発揮する姿を後輩たちがみて、自分たちもそれに続くという好循環が生まれており、ぜひ今後も継続されていってほしいものと思っています。

過去5年間主要大学合格者数 (現役+浪人)

		23年度	22年度	21年度	20年度	19年度
		48期	47期	46期	45期	44期
国公立	東大	60	65	49	44	48
	一橋	10	25	13	10	13
	東工大	21	18	5	14	13
	国立医	25	40	35	15	18
	小計	116	148	102	83	92
私立	慶応	135	169	150	135	125
	早稲田	142	189	138	136	151
	小計	277	358	288	271	276
合計	393	417	341	310	320	
現役進学率%		71	77	63	71	70

個人表彰

第14回関東甲信越地区 中学高校秋季ディベート大会	特別賞	高1 可部 泰生 高1 佐々木 悠 高1 原田 昂 高1 船津 龍樹
高校生の税の作文	中税務署長賞	高1 柏木 貴裕
エコノミクス甲子園神奈川大会	準優勝	高2 荒井 大樹 高2 黒部 笙太
中3百人一首かるた大会	優勝	中3 新郷 雅大
	準優勝	中3 小須田達也
	3位	中3 間 貴博
	4位	中3 増田 英孝

編集後記

今回の校友会報は以下の広報委員会を中心に作成しました。
委員長 茅野 誠(9期)
委員 中野 秀(11期)
委員 花家 徹(13期)
委員 狩野 靖夫(14期)
委員 高橋英一郎(14期)
委員 伏見 靖(20期)
委員 榎田 恭平(27期)
委員 加賀美博之(31期)

3月11日の東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に被災された方々の一日も早い復旧、復興を願っております。

聖光生も現地でボランティアとして活動したこと、生徒たちもそこで何かを感じてくれたものと思っています。

私も岩手県陸前高田市と宮城県女川町に行つて来ました。まさに津波で何もかも流されてしまった光景を目の当たりにして愕然としましたが、そこでお互いが協力して黙々と働く人々を見て勇気をもらいました。さらに、今だ収束していない福島第一原子力発電所の事故を見ても自然の猛威に人間は無力ということを思い知らされました。

しかし、必死の覚悟で復旧に当たっている人々を見るにつけ、また、この大震災に際しても暴動や略奪も起きないこの国の国民のすごさを感じざるを得ません。神様は私たちに大きな試練をお与えになったのかも知れませんが、決して見放したりはしない。そう感じるのは私だけではないと思います。